



「声」の欄・投稿規定

- ★「声」の欄は読者の皆さんのお考えを、直接誌面に反映させるためのページです。皮膚病の診療に関する日ごろのご意見、新しいアイデア、ご提言などをお気軽にお寄せください。とくに日夜第一線で診療に活躍しておられる先生方からのご投稿を切望します。
- ★「声」の欄には、また皮膚病に関する“質疑応答”を取り上げます。お寄せいただいたご質問は、その方面の権威に依頼して適切な回答を用意し、誌上で発表いたします。とくに回答者を指名されても結構です。
- ★字数は一般のご投稿は1,200字以内、質問は600字以内を原則とします。
- ★ご投稿は郵送のほか、FAX（番号：03-3984-1003）とE-mail（アドレス：hifubyoh-shinryoh@kk-kyowa.co.jp）にても受け付けております。
- ★原稿には住所・氏名を明記していただきます。

「仕事と家庭」(Vol.42, No.1) を読んで

馬場直子先生の「仕事と家庭」について、馬場先生の苦勞、生き様を知ることができる素晴らしい記事で、大変参考になりました。

1つ気になった点があります。

記事の終盤に「(妊娠で)迷惑をかけている人に感謝の気持ちを忘れないこと」とありました。

妊娠によって仕事に穴が開く→周囲の負担が増えることは事実ですが、それを迷惑と表現するのは産まれてくる赤ちゃん、その家族に対して失礼ではないでしょうか。

馬場先生自身が妊娠・出産の際に周囲から迷惑がられた経験があると邪推してしまいますし、近年増えているママさん皮膚科医の中には周囲への配慮が欠如していると思えないケースが散見されるのかもしれないかもしれませんが、いずれにしても、「妊娠＝迷惑」という表現では妊婦の肩身が狭くなるばかりだと思います。

その一方で、当直や当番などのしわ寄せが来ってしまう同僚の気持ちもわかります。

ですから、妊婦が周囲に感謝することは当然として、それと同時に埋め合わせをする同僚にもなんらかのご褒美(収入なり休みなり)を与えるべきではないでしょうか。そうすることでみんなが幸せになる、と私は思います。

重野 和彦

(国際医療福祉大学成田病院皮膚科)

「増悪期に皮膚白血球破碎性血管炎を合併した皮膚動脈炎」(Vol.42, No.6 臨床例) を読んで

6月号の上記掲載症例を読んで、気になったのでペンをとりました。病理組織写真の説明に「真皮中層の筋性動脈」と書かれていますが、筋性動脈はもっと深いところ(真皮～皮下の境界部や皮下組織)に位置するのではないのでしょうか？ 本文の病理組織学的所見の記載も「真皮中層から皮下組織の筋性動脈に壊死性血管炎を認めた」とごく簡単に一文が述べられているだけで、どうしてすぐに動脈と判別したのか不思議です。Elastica van Gieson染色をされているとも書いてなく、特染の組織写真も提示されていません。提示された病理組織のH-E染色像で、束状に血管壁の弾性線維がみてとれるので、静脈ではないのでしょうか？ ぜひ特染の写真を出していただきたいところでした。

皮膚結節性多発動脈炎は真皮下層～皮下脂肪織の動脈を選択的に侵し動脈壁のフィブリノイド変性、好中球の血管壁への浸潤、出血像がみられますが血管外の炎症が少なく真皮中層の血管は正常だと認識しています(周辺の静脈の拡張はある)。さらにいうと、この症例で増悪時に出現した点状紫斑の組織像(図4)も血管炎(leukocytoclastic angiitis)とはいえないと思います。

本号の特集タイトルとは異なってしまいかもかもしれませんが、血管炎の診断はむずかしく皮膚科で専門にしておられる先生も次第に少なくなっているのが現状だと思います。血管炎の病理を専門にされている先生のご意見をうかがいたいと思い、投稿しました。

ペンネーム：盛り上がり！血管炎(東京都)